

2021年度

[分野] 専門基礎 /人体の構造と機能

[授業科目]

解剖学Ⅰ

1 学年

[基本情報]

担当教員	木原 和彦		単位数	4	時間数	80
実務経験 /関連資格	臨床経験有り/あん摩マッサージ指圧師、はり師きゆう師、柔道整復師、大学の非常勤講師の教員が指導する。					
開講学期	前期	後期	授業形態	講義	---	

[授業目標]

東洋医学の基礎となる人体の正常基本構造および構成要素について1年間学ぶ。前期は、人体構造の基本原則、骨を中心とした運動器系について、後期は筋肉を中心とした運動器系について学習するだけでなく、その構造や形態が形成される過程に存在する法則について発生学的な知識を交えながら理解を深める。

[到達目標]

1. 人体解剖学の基本的体系を知り、人体の臓器、組織の形態の原則が理解できる。
2. 進化や発生の過程で人体が形成されたことを知る。
3. 体幹、上肢、下肢の骨と筋について網羅的に学ぶ。
4. 体幹、上肢、下肢の筋の起始、停止、作用(働き)、神経支配について説明できる。
5. 関節の形態の特徴と働きについて説明できる。

[評価方法]

定期試験 実技試験 実習評価 小テスト レポート その他(中間試験)
定期試験のみで評価する。※運動器系のうち前期:骨格器系(100点満点)と後期:筋系(100点満点)の総合評価により判定する。
なお、全授業の1/3以上の欠席があったものは学年末試験の受験は認めない。

[準備学習/学習のアドバイス]

各回共通 ※事前にレジメは配布する。
・予習:教科書の該当する箇所、レジメを事前に読んでくること
・復習:前回の授業で使用したレジメにまとめられている内容を自分の言葉で説明できるように復習すること。特に資料(レジメ)の括弧内に書き込んだ用語が理解できているかを確認すること。
★特別の理由を除き、遅刻・欠席は厳禁。
【自己学習(準備学習)に必要な時間】1時限あたり 予習:60分、復習:60分

[教科書]

[参考書]

東洋療法学校協会編教科書 解剖学 第2版
(公)東洋療法学校協会 編/河野邦雄・伊藤隆造 ほか著

①.「解剖学講義 改訂3版」
伊藤 隆(南山堂)

[履修の条件・留意点]

1. 平素の授業態度により単位未修得となることがあるので留意のこと
2. 講義の前に毎回、講義資料(レジメ)プリントによる事前学習を進めておくこと
3. 遅刻又は欠席は、減点の対象となるので留意のこと

授業計画 :回数/講義内容/形式

1回	解剖学の用語(人体の面と方向)	講義
2回	骨の役割、骨の構造、骨の発生と成長	講義
3回	骨:脊 柱 総論	講義
4回	骨:脊 柱 各論	講義
5回	骨:脊 柱 構造	講義
6回	骨:胸 郭	講義
7回	骨:上肢帯	講義
8回	骨:上腕骨	講義
9回	骨:前腕の骨	講義
10回	骨:手の骨	講義
11回	骨:下肢帯	講義
12回	骨:大腿骨	講義
13回	骨:下腿骨	講義
14回	骨:足の骨	講義
15回	骨:頭蓋骨 総論	講義
16回	骨:頭蓋骨 各論	講義
17回	細胞分裂、組織	講義
18回	体表構造(皮膚)	講義
19回	前期単位試験(骨格系)/解答・解説	試験/講義
20回	筋系:上肢帯の筋	講義
21回	筋系:上腕の筋	講義
22回	筋系:前腕の筋	講義
23回	筋系:前腕の筋	講義
24回	筋系:手の筋	講義
25回	上肢の筋のまとめ	講義
26回	筋系:下肢帯	講義
27回	筋系:大腿の筋	講義
28回	筋系:下腿の筋	講義
29回	筋系:足の筋	講義
30回	下肢の筋のまとめ	講義
31回	筋系:胸部の筋	講義
32回	筋系:腹部の筋	講義
33回	筋系:背部の筋	講義
34回	体幹の筋のまとめ	講義
35回	筋系:頭蓋の筋	講義
36回	筋系:頸部の筋	講義
37回	局所解剖.骨筋、脈管	講義
38回	局所解剖.神経系	講義
39回	体表解剖	講義
40回	後期単位試験(筋系)/解答・解説	試験/講義

2021年度

[分野] 専門基礎 /人体の構造と機能

[授業科目]

解剖学Ⅱ**1 学年**

[基本情報]

担当教員	木原 和彦		単位数	2	時間数	60
実務経験 /関連資格	臨床経験有り/あん摩マッサージ指圧師、はり師きゅう師、柔道整復師、 大学の非常勤講師の教員が指導する。					
開講学期	前期	後期	授業形態	講義	---	

[授業目標]

医学の基礎となる解剖学のうち脈管系と内臓器系について人体の正常基本構造および構成要素について1年間学ぶ。脈管系については、心臓の構造と機能、主要な血管とその分枝の名称、走行、分布域について理解する。また、内臓諸器官については消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌器系について構造と機能を関連づけて理解を深める。

[到達目標]

1. 医療専門職として必要な脈管系の構造と機能を、関連器官と合わせて理解する。さらには適切な専門用語を用いて説明することができることを目標とする。
2. 医療専門職として必要な内臓系の構造と機能を、関連器官と合わせて理解する。さらには適切な専門用語を用いて説明することができることを目標とする。

[評価方法]

定期試験 実技試験 実習評価 小テスト レポート その他(中間試験)
定期試験のみで評価する。※前半:脈管系(100点満点)と後半:内臓器系(100点満点)の総合評価により判定する。全授業の1/3以上の欠席があったものは学年末試験の受験は認めない。

[準備学習/学習のアドバイス]

各回共通 ※事前にレジメは配布する。
・予習:教科書の該当する箇所、レジメを事前に読んでくること
・復習:前回の授業で使用したレジメにまとめられている内容を自分の言葉で説明できるように復習すること。特に資料(レジメ)の括弧内に書き込んだ用語が理解できているかを確認すること。
★特別の理由を除き、遅刻・欠席は厳禁。
【自己学習(準備学習)に必要な時間】1時限あたり 予習:60分、復習:60分

[教科書]

[参考書]

東洋療法学校協会編教科書 解剖学 第2版 (公)東洋療法学校協会 編/河野邦雄・伊藤隆造 ほか著	①.「解剖学講義 改訂3版」 伊藤 隆(南山堂) ②.「グレイ解剖学 原著第3版」 塩田浩平他訳(エルゼビアジャパン)
---	--

[履修の条件・留意点]

1. 平素の授業態度により単位未修得となることがあるので留意のこと
2. 講義の前に毎回、講義資料(レジメ)プリントによる事前学習を進めておくこと
3. 遅刻又は欠席は、減点の対象となるので留意のこと

授業計画 ;回数/講義内容/形式

1回	脈管系:概説	講義
2回	脈管系心 臓	講義
3回	脈管系心 臓	講義
4回	脈管系頭頸部の動脈	講義
5回	脈管系体幹の動脈	講義
6回	脈管系上肢・下肢の動脈	講義
7回	脈管系全体の静脈	講義
8回	脈管系皮静脈など	講義
9回	脈管系胎児循環	講義
10回	脈管系リンパ系	講義
11回	単位試験(脈管系)/解答・解説	試験/講義
12回	呼吸器系:鼻腔-気管	講義
13回	呼吸器系:気管-肺	講義
14回	呼吸器系のまとめ	講義
15回	消化器系:口腔-食道	講義
16回	消化器系:食道-胃	講義
17回	消化器系:小腸-大腸	講義
18回	消化器系:肝臓、膵臓-腹膜	講義
19回	泌尿器系:腎 臓	講義
20回	泌尿器系:尿 路	講義
21回	泌尿器系のまとめ	講義
22回	生殖器系:男性生殖器	講義
23回	生殖器系:男性生殖器	講義
24回	生殖器系:女性生殖器	講義
25回	生殖器系:女性生殖器	講義
26回	生殖器系のまとめ	講義
27回	内分泌系概説	講義
28回	内分泌各論	講義
29回	内分泌器系 まとめ	講義
30回	単位試験(内臓系)/解答・解説	試験/講義

2021年度

[分野] 専門基礎

/人体の構造と機能

[授業科目]

解剖学Ⅲ**1 学年**

[基本情報]

担当教員	松澤 孝司		単位数	2	時間数	40
実務/資格	臨床経験有り/はり師きゅう師、大学の非常勤講師の教員が指導する。					
開講学期	前期	---	授業形態	講義	---	

[授業目標]

・神経系及び感覚器について学習する。神経系の構成について理解し、中枢神経系及び末梢神経系について理解できる。脳神経の際、特殊感覚系(視・聴・平衡・嗅・味覚)の構造についても理解できる。すべてに言えるが、教科書の構成に注意し、分類ができると分かることが多くなる。

[評価方法]

単位認定試験を基本に、毎回の復習問題、授業への参加度も合わせて総合評価とする。

[教科書]

[参考書]

東洋療法学校協会編教科書 解剖学 第2版

特になし

[履修の条件・留意点]

各授業の開始10分間を使用して、前回の復習問題を行い、即、答え合わせを行います。忘れないうちに記憶に残るようにしっかりと取り組むこと。

授業計画 ;回数/講義内容/形式

1回	ガイダンス 第8章 神経系1. 神経系の構成 2. 中枢神経系 1)脊髄	講義
2回	1)脊髄	講義
3回	2)延髄と橋 3)中脳	講義
4回	4)小脳 5)間脳 6)大脳	講義
5回	6)大脳	講義
6回	7)脳室系 8)髄膜 9)脳脊髄液 10)脳の血管	講義
7回	10)脳の血管 4. 末梢神経系概略	講義
8回	1)脳神経 嗅・視神経	講義
9回	動眼・滑車・外転神経	講義
10回	三叉神経	講義
11回	顔面・内耳神経	講義
12回	舌咽・迷走・副・舌下神経	講義
13回	2)脊髄神経、頸神経叢	講義
14回	腕神経叢	講義
15回	腕神経叢	講義
16回	腰神経叢	講義
17回	仙骨神経叢	講義
18回	3)自律神経(1)交感神経系	講義
19回	(2)副交感神経系	講義
20回	単位試験/解答・解説	試験/講義

2021年度

〔分野〕 専門基礎 /人体の構造と機能

[授業科目]

生理学Ⅰ

1 学年

[基本情報]

担当教員	高野 弘仁		単位数	4	時間数	80
実務/資格	臨床経験有り/はり師きゅう師、柔道整復師の教員が指導する。					
開講学期	前期	後期	授業形態	講義	---	

[授業目標]

生体を構成する細胞の働きや循環、呼吸、排泄、消化吸収、代謝、体温、内分泌の働きを理解し、生体の恒常性について学習することを目的とします。循環、呼吸、排泄など生命を維持する機能および生体を構成する物質を得るための消化と吸収、代謝、生体の恒常性維持に必要な内分泌系について理解を深める。

[評価方法]

定期試験 実技試験 実習評価 小テスト レポート その他(中間試験)

[教科書]

東洋療法学校協会編 生理学

[参考書]

特になし

[履修の条件・留意点]

特になし

授業計画 ;回数/講義内容/形式

1回	生理学とは, 生理学の学び方, 恒常性, 細胞.	講義
2回	第1章, 生理学の基礎...細胞の構造と働き	講義
3回	物質代謝, 体液, 物質移動	講義
4回	第2章, 循環...赤血球, 白血球, 血小板	講義
5回	血漿, 血液凝固, 血液型	講義
6回	血漿, 血液凝固, 血液型	講義
7回	心臓血管系, 心臓の構造と働き	講義
8回	心臓の構造と働き	講義
9回	血液循環	講義
10回	血圧, 循環の調節	講義
11回	血圧, 循環の調節	講義
12回	第2章まとめ小テスト・第3章, 呼吸;呼吸器系の構造と機能, 呼吸運動	講義
13回	肺機能, ガス交換とガス運搬	講義
14回	呼吸運動の調節	講義
15回	第3章まとめ小テスト	講義
16回	第4章, 消化と吸収...構造と機能, 口腔内消化	講義
17回	口腔内消化・胃内消化	講義
18回	小腸内消化1	講義
19回	小腸内消化2	講義
20回	前期単位試験/解答・解説	試験/講義
21回	大腸内消化, 消化管ホルモン, 肝臓	講義
22回	第4章 まとめ小テスト	講義
23回	第5章, 栄養と代謝...エネルギー代謝	講義
24回	三大栄養素の働きと代謝	講義
25回	ビタミン, ミネラル, 水	講義
26回	第6章, 体温...体温の部位差と変動, 産熱	講義
27回	放熱, 体温調節の仕組み	講義
28回	第5・6章まとめ小テスト	講義
29回	第7章, 排泄...腎臓の構造と働き1	講義
30回	腎臓の構造と働き2	講義
31回	腎臓の構造と働き3	講義
32回	腎臓による体液調節, 蓄尿と排尿	講義
33回	第7章まとめ小テスト	講義
34回	第8章, 内分泌...ホルモンの一般的特徴	講義
35回	視床下部, 下垂体ホルモン	講義
36回	甲状腺, 副甲状腺ホルモン	講義
37回	膵臓, 副腎	講義
38回	精巣, 卵巣	講義
39回	精巣, 卵巣	講義
40回	後期単位試験/解答・解説	試験/講義

2021年度

[分野] 専門基礎

/疾病の成り立ち、予防及び回復の促進

[授業科目]

衛生学Ⅰ

1 学年

[基本情報]

担当教員	酒井 乙彦		単位数	2	時間数	40
実務/資格	臨床経験有り/あん摩マッサージ指圧師、はり師きゆう師、柔道整復師の教員が指導する。					
開講学期	前期	---	授業形態	講義	---	

[授業目標]

はり師きゆう師として活動する際、疾病予防や健康増進についての制度について熟知しておくことは、必須であると考えられる。本科目では、衛生学の意義について学習し、健康とライフスタイル、環境、産業保健、精神保健との関わりについて学習することとする。

[評価方法]

定期試験 実技試験 実習評価 小テスト レポート その他(中間試験)

[教科書]

[参考書]

衛生学・公衆衛生学 第2版 (東洋療法学校協会編) 医歯薬出版

特になし

[履修の条件・留意点]

真摯な授業態度で受講して下さい。

授業計画 :回数/講義内容/形式

1回	第1章 衛生学の歴史、各宣言・憲章・条約	講義
2回	第2章 健康の概要、疾病の自然史と疾病予防	講義
3回	第2章 健康管理活動ライン、集団検診	講義
4回	第2章 健康増進、喫煙、保健所	講義
5回	第2章 プライマリケア、国民医療費、脳死	講義
6回	第3章 食品と栄養、健康日本21の食生活指針	講義
7回	第3章 肥満の分類方法、ビタミン欠乏症	講義
8回	第3章 食中毒	講義
9回	第3章 運動と健康	講義
10回	1章～3章 まとめと解説	講義
11回	第4章 環境と健康(物理学的環境要因)	講義
12回	第4章 環境と健康(化学的環境要因)	講義
13回	第4章 環境と健康(生物学的環境要因)	講義
14回	第4章 環境と健康(各種公害)	講義
15回	第4章 環境と健康(地球規模の環境要因)	講義
16回	第4章 環境と健康(地球規模の環境要因の続き)	講義
17回	第5章 産業保健(意義、関連法規)	講義
18回	第5章 産業保健(労災、業務上疾病)	講義
19回	第6章 産業保健(業務上疾病の続き)	講義
20回	4章～5章 まとめと解説	試験/講義